

企業の設備投資が活発化する中

# システム建築への 注目度が高まる理由

日本経済は景気の順調な拡大が続いている。企業の設備投資も活発になり、工場や倉庫などの建設需要も高まっている。一方で、資材価格の高騰や、建設業界の労働力不足などの問題も深刻化している。こうした中、高品質な建物が短工期、低コストで建てられるとして注目されているのがシステム建築だ。中でも「yess建築」は、地域の建設会社、設計事務所や顧客企業に選ばれ、受注面積・シェアを急速に伸ばしている。

制作・東洋経済企画広告制作チーム

BUSINESS  
CORE

横河システム建築

## 前年比30%以上の受注増 新工場の建設にも着手

千葉県茂原市——。圏央道「茂原北IC」から車で約5分という好立地で、敷地面積11万平方メートルに延床面積3万平方メートルという巨大な工場の建設が始まっている。横河システム建築の新工場だ。

「おかげさまでシステム建築の需要が急速に伸びており、受注面積・シエアともに過去最高となっています。ニーズに応えるとともに、さらなる成長を図るために、新工場を建設することになりました」と、同社の大島輝彦社長は紹介する。

同社はシステム建築「yes建築 (Yokogawa Engineered Structure System: イエス建築)」を開発・提供している。システム建築は、鉄骨、屋根、外壁、建具などの部材を標準化することにより高品質な建物が短工期、低コストで建築できるのが大きな特長だ。

部材の標準化といっても、設計の自由度は高い。「yes建築」なら1メートルピッチで、建物の幅、長さ、高さなどを設定でき、要望に応じて天井クレーンの設置なども可能だ。最大60メートルのスパンに対応できるのも「yes建築」ならではの。

大島氏が語るように、「yes建築」の実績が急成長している。同社の受



千葉県茂原市に建築中の新工場完成予想パース

注面積は2016年度の71万平方メートルから17年の92万平方メートルへと、1年間で30%以上も伸びた。全国鉄骨造の工場・倉庫・作業所の着工面積に対するシエアも、1年間で4.8%から5.8%へと上昇している。18年度はさらに、受注面積105万平方メートル、シエア6.3%を見込む。

「景気の回復感が広がる中、企業の設備投資が活発になっていきます。中でも、eコマース企業に代表される物流の変革や消費スタイルの変化などに伴い、工場や倉庫の需要が旺盛になっています。一方で、資材価格の高騰や建設業界の労働力不足の問題が深刻になっているうえ、来年

企業の設備投資が活発化する中

## システム建築への 注目度が高まる理由

は消費増税による駆け込み需要が見込まれ、短工期への要望も強まってくることから、『yes建築』への期待がますます高まっているものと確信しています」

「yes建築」は、部材の標準化だけでなく、営業の見積・積算、生産設計、工場での実際の生産まで、ワンストップで行えるシステムを構築しているのが大きな特長だ。特に、

千葉県袖ヶ浦市にはシステム建築専用工場を有し、設計から鋼材の調達、加工、輸送までを一貫して行っているため、低コスト・短工期が可能になっている。

「茂原市の新工場の稼働は19年8月を予定しています。それにより、生産能力は現在の約2倍に増強できる計画です」(大島氏) というから楽しみだ。

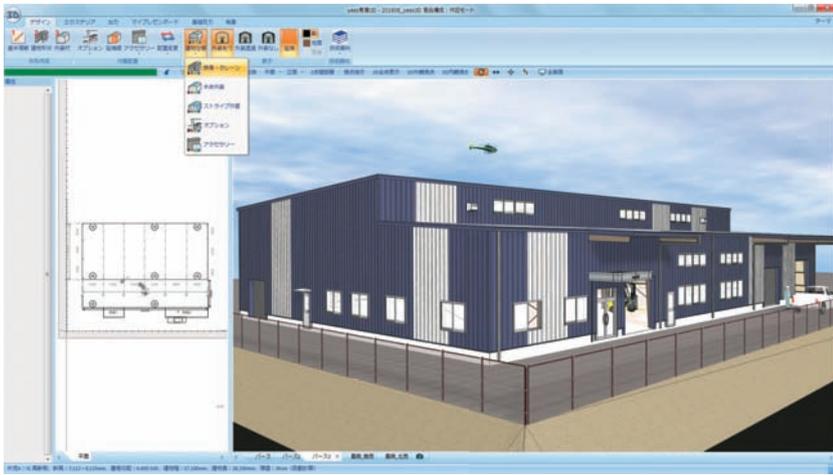
横河システム建築  
代表取締役社長  
大島 輝彦

## ビルダーの提案力を増す

### 「yess見積3D」

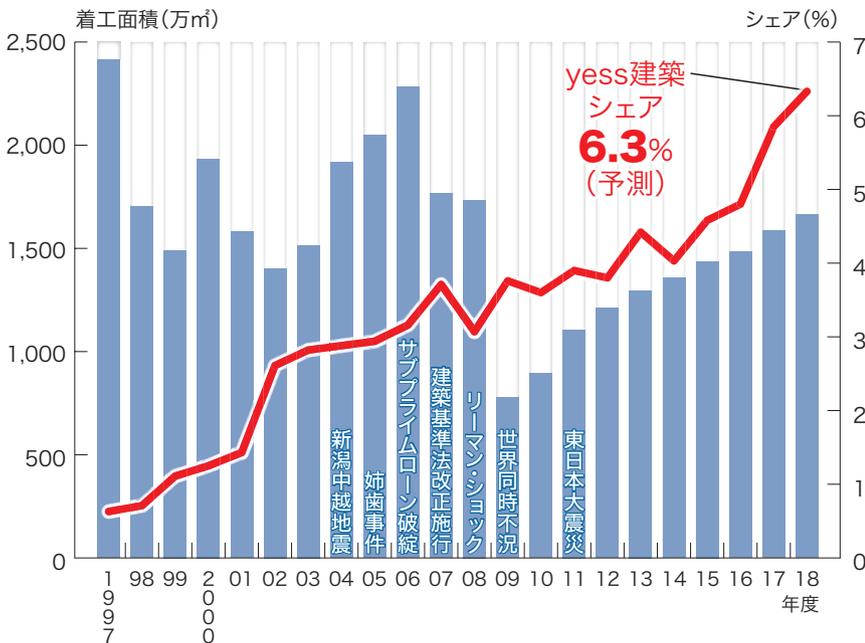
「低コスト」「短工期」「高品質」を  
 特長とする「yess建築」はこれまで、  
 工場や倉庫などでの引き合いが多  
 かったが、最近では、店舗や事務  
 所、スポーツ施設などでも採用事例  
 が増えているという。

「当社には『ビルダー』と呼ばれる  
 地域の建設会社のネットワークがあ



「yess見積3D」では、建物の寸法や建具配置、外壁の色などをシミュレーション可能

### ■ 全国の工場・倉庫・作業所(鉄骨造)の着工面積の推移とyess建築のシェア



「yess建築」の受注実績だけでなく、全国の着工面積に占める「yess建築」のシェアも実勢を伸ばしている。2018年度は過去最高に達成する見込みだ

り、事前の相談から見積もり、施工

メンテナンス、増築や改修まで地域  
 のお客様企業の要望にきめ細かくお  
 応えしています。また、お客様の事

業の広がりに合わせて提案も迅速に  
 行えます」と大島氏は紹介する。

現在、ビルダーの数は北海道から  
 沖縄まで全国約1060社。その多  
 くは中堅・中小規模の企業で人的リ  
 ソースには限りがあるが、「yess  
 建築」なら質の高い提案が可能だと

いう。

「それを実現しているのが、当社  
 独自の『yess見積3D』システム  
 です。図面や見積書の作成のほか、

建物の完成イメージ図を三次元パ  
 ーで提案できるもので、お客様の要  
 望に応じて、寸法や建具配置、外壁  
 色の変更なども柔軟にできます」

早ければ1時間ほどでこれらの業  
 務が可能だというから驚く。迅速な  
 見積書の作成のみならず、その場で

完成イメージを理解しやすいことか  
 ら評価も高く、受注にもつながりや  
 すいという。

## 新商品開発とともに システム建築を デファクトスタンダードに

「最近では、事業主であるお客様  
 自身から地域の建設会社に『システ  
 ム建築は扱っているか』と問い合わせ  
 せが来ることが珍しくありません。  
 こうしたことから、在来工法からシ  
 ステム建築へと「選択と集中」を進  
 め、ビルダーとして参加される建設  
 会社も増えていきます。『yess建築』  
 を通じて、地域の企業の競争力向上  
 や地域活性化のお手伝いをしたいと  
 考えています」と力を込める。

その点で、横河システム建築なら、  
 中小規模の施設であっても柔軟に対  
 応できるのは頼もしい。同社なら  
 100〜500平方メートル規模の物件で  
 も丁寧に対応してくれる。

「中小規模のニーズに応える新商  
 品についても、『yess見積3D』で  
 の対応を積極的に進めています」と  
 大島氏は話す。

たとえばその一つが「メタルガラ  
 ージ」だ。開口幅8メートル、この規模の  
 建物製品としては最大クラスのワイ  
 ドな軽量シャッター仕様で大型車両  
 も格納できる本格鉄骨造のガレージ

型多目的倉庫だ。車庫をはじめ、農機具倉庫や作業場、資材倉庫などさまざまな用途に使える。中小規模向けの新商品としてもう一つ、「スペースMAX」にも注目したい。既存商品ではあるが、来年2月に、経済性・デザイン性・強靱性を大幅に高めたり、ニューラル版のリリースが予定されている。すっきりした空間で内装もしやすいため、工場や倉庫だけでなく、事務所や店舗などで

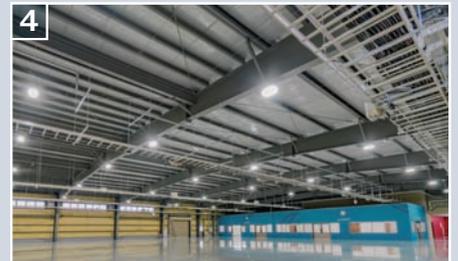
大島氏は「システム建築を採用していたことで、お客様や建設会社のためにも、『Yes建築』をもっと多くの人に知っていただき、システム建築が『デファクトスタンダード（事実上の標準）』になることを願っています」と語る。その実現に向けた同社の取り組みに、引き続き注目していきたい。

も広く採用されそうだ。「メタルガレージ」「スペースMAX」とともに、ビルダーの提案にあたっては、「yess見積3D」が活用できる。仕様や寸法を表示されたメニューから選ぶだけなので、経験の浅いスタッフであっても、簡単にパースや見積書、提案書が作成できるだろう。

建設業界が直面する課題などを考慮すると、今後、在来工法に代わり、システム建築が採用される機会も増えていくと考えられる。日本経済の成熟化が指摘される一方で、システム建築はまだまだ成長の余地が大きい有望な市場と言えるだろう。



岩手県北上市相去町「北上産業業務団地」のyess建築（赤い矢印）。デファクト化が進んでいることがうかがえる



- 1 大崎農園 農産物集出荷加工センター(鹿児島県)
- 2 アライパーツ つくば工場(茨城県)※写真はこちらの内観
- 3 4 シンワ 御幸浜工場事務所棟(愛知県)
- 5 6 アスカインデックス 九州テクニカルセンター(福岡県)

● 横河システム建築 千葉県船橋市山野町47-1 横河ウエストビル ☎0120-43-4550 <http://www.yokogawa-yess.co.jp/>

「横河のホームページには、1,000件を超える豊富な事例が掲載されています」

システム建築

検索